

地域支援部通信

令和8年1月30日 No. 3
青森県立弘前第一養護学校
地域支援部

今年度の居住地校交流について

今回は、地域支援部通信 No. 1 で紹介した居住地校交流について、今年度の実施状況を紹介します。

今年度は37名の児童生徒が交流学習を希望しました。※12月末までの集計データです。

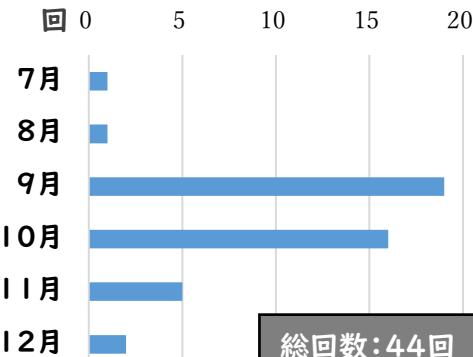
児童生徒人数内訳

小学部1年生…5名
2年生…7名
3年生…3名
4年生…4名
5年生…6名
6年生…9名
中学部1年生…1名
中学部2年生…1名
中学部3年生…1名
計37名



例年継続して交
流している方も多
いですが、小1年
生や、2年生以上
での新規希望者
もいました。

交流時期



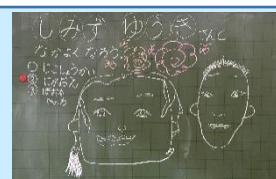
交流学習教科



体育、図画工作、音楽等、体験的な活動が多い教科での交流が多
かったです。交流時間は、1時間程度であることが多かったです。

交流学習をする教科は、本人や保護者の希望をもとに、交流校の先
生と、本校の担任とで話し合って決めます。実態に合った内容や、より交
流のねらいにせまることができる内容を考えて計画しています。

相手校と本校の行事（運動会や学習発表会）がある月を
避けて実施していることが多かったです。



交流体験者の 清水優希さん（小1）にインタビュー！

Q & A

- ・何をしましたか。→みんながぼくの絵を描いてくれた。体育で、大きい
跳び箱に登った。休み時間に鬼ごっこをした。
- ・感想を教えてください。→みんなと遊んで、楽しかった。

▲みんなと協力して描いた優
希さんと帶同した教師の絵